

コマンドプロンプト

JJ1SXA/池

FTP (File Transfer Protocol; ファイルトランスファープロトコル) とは、ホームページをWEBにアップロードする(転送する)時等に使う約束事(プロトコル)のことだ。

現在私は、ホームページをWEBにアップロードするのは、FFFTPクライアントソフトウェアを使って、コピペで簡単に済ませているが、ホームページを作成した初期の頃は、コマンドプロンプトで、コマンド入力で行っていた、コマンドプロンプトを他の事に使うのは、後述する「ipconfig」ぐらいのもので、後、終了のコマンドは「exit」だということぐらいしか知らない。

久しぶりに、コマンドプロンプトでホームページのアップロードをしようと思ったが、永いこと使っていなかったのでスムーズに作業ができず、以前作成したアンチョコを引っ張り出す始末だった、そんなわけで、少しコマンドプロンプトの再勉強をしようと思った次第で、且つ、勉強の結果を例によって記事にして後日のアンチョコにだ。

DOS (Disk Operating System: ディスクオペレーティングシステム) の時代にはパソコンには全く手が出ず、Windows95が発表されて、これなら何とかなりそうだったのが、つい昨日のことに思い出される、とはいえ、それから幾年経ったことやら、未だに初心者にも毛が生えた程度、情けない。

ここで、ついでに、GUIとCUIについて、GUIはGraphical User Interface (グラフィカルユーザーインターフェース) のことで、マウス主体の操作方法で、CUIはCharacter User Interface (キヤラクターベースユーザーインターフェース) でキーボードからコマンドを入力してパソコンを操作するのだ。

コマンドプロンプトの起動方法はいくつかあるが、ここは上級者を真似て、「Windows+R」で「ファイル名を指定して実行」を開き、「cmd」と入力して「OK」ボタンをクリック又は「Enter」キーを押す。

「cmd」の入力後、「Ctrl+Shift」キーを押しながら「OK」ボタンまたは「Enter」キーを押せば、管理者権限で起動する。

コマンドも「ファイル/ディレクトリ関連」のもの、「path/年月日/OS関連」のもの、「ネットワーク関連」のもの等色々あり数も多い。

この内「ネットワーク関連」のものの代表例を下記に示す。

IPアドレスを表示する「ipconfig」を実行すると「192.168.64.130」等が表示される。

IPアドレスを表示+詳細情報は「ipconfig /all」でIPアドレスと詳細な情報まで表示される。

使用中のポートを表示する「netstat」では、「対象全てが」表示される。

ネットワークが繋がっているか確認する「ping」では「ping 192.168.1.1」等で確認できる、この位が代表的なものか？(自分が利用する代表的なもの)

これ等の他、「複数のファイルを一括処理」、「コマンドの使い方やオプションを表示」とかの「ワイルドカード」などという上級技もいろいろある、

コマンドを入力して「Enter」キーを押せば、それが実行されるが、コマンドの文字列や書式を間違えたり、原則は半角だが全角文字にしたりの入力に問題があった場合は、エラーが表示されて何も実行されない、だから、私のような初心者にも毛が生えた程度の者でも、間違いを恐れず操作できる、凄く嬉しいことだ。 hi (2022年8月記)